

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和5年第13週（令和5年3月27日～令和5年4月2日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- 第13週は、梅毒の報告が15件ありました。第13週までの累積報告数は187件で、昨年同時期（94件・速報値）と比較し約2倍に増えています。梅毒は、感染後3週間程度で発症（性器や唇等のしこりやただれ等）しますが、治療をしなくても一旦症状が軽快します。しかし、その間も病原体は体内に潜んでおり、感染力があるため、気になる症状がある場合は早めに受診し、治療を受けることが大切です。県内の各保健所では、梅毒などの性感染症の相談や無料・匿名での検査を実施しています。実施できる検査や検査日などは各保健所までお問い合わせください。また、福岡県ホームページ「【注意！】梅毒の感染者が例年に比べてとても増えています（症状に関する写真も掲載しています）」（<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/baidoku2018.html>）に症状等の詳しい情報を掲載していますのでご活用ください。
- 福岡県感染症情報ホームページ（http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/）では、感染症発生情報、病原体検出情報などがご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	135	196	2,782
腸管出血性大腸菌感染症	1	10	20	212
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	24	18	394
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	10	10	198
梅毒	15	187	148	3,152
百日咳	2	6	4	125

※新型コロナウイルス感染症の最新の発生状況等は別紙をご覧ください。

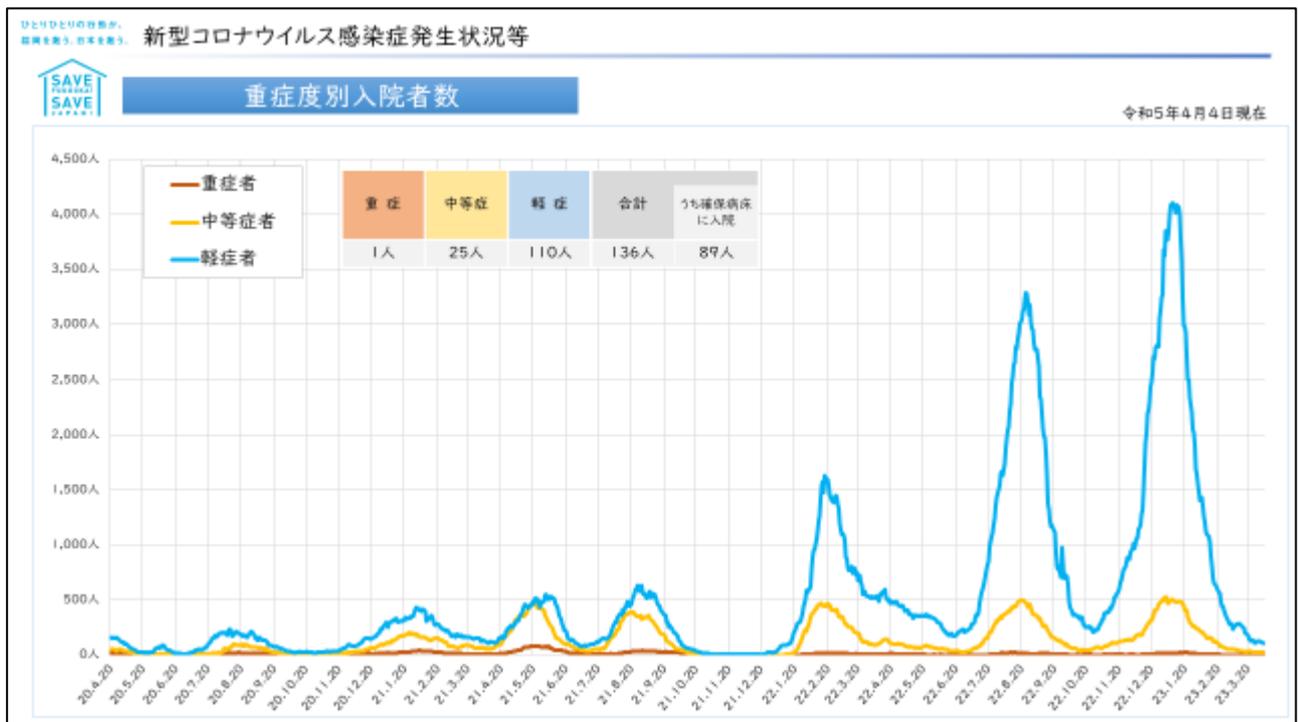
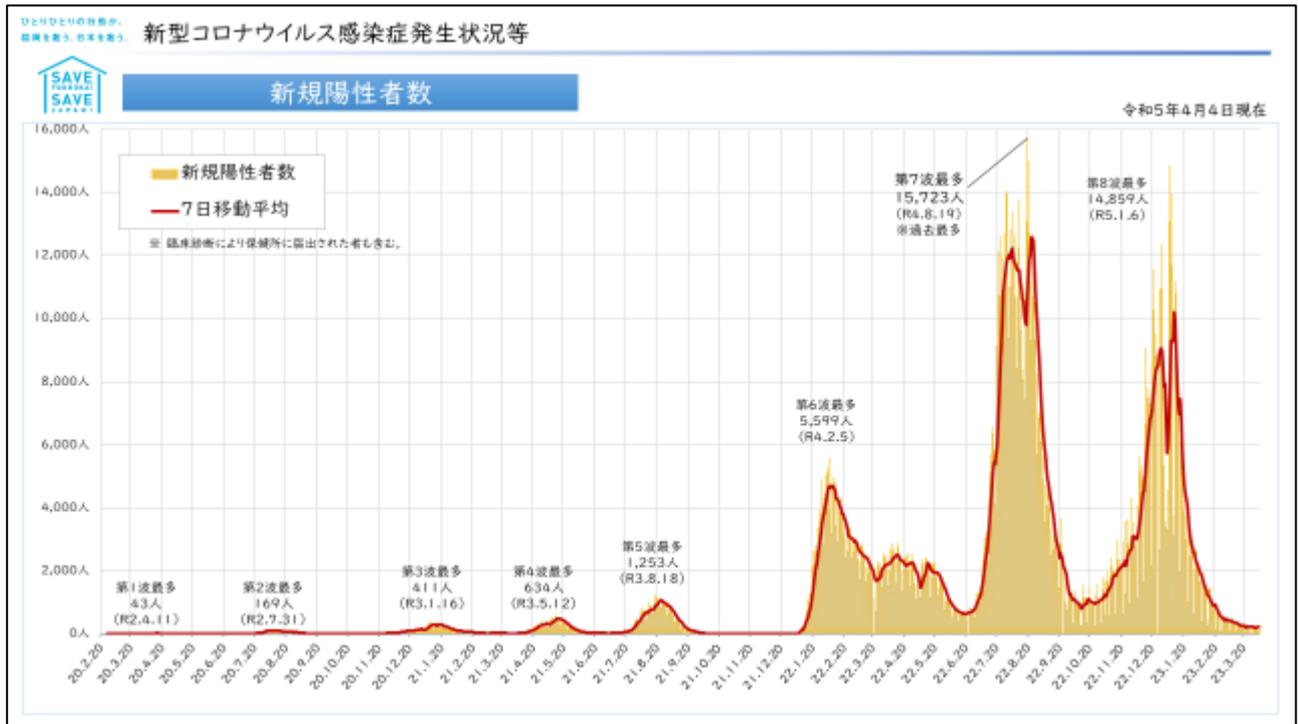
■ 定点把握疾患報告数

■：警報レベル

■：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	1,008	5.09	0.59	31,760	6.44
RSウイルス感染症	83	0.69	0.92	1,313	0.42
咽頭結膜熱	36	0.30	0.90	505	0.16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	280	2.33	1.56	1,515	0.48
感染性胃腸炎	495	4.13	0.80	13,245	4.21
水痘	7	0.06	0.78	223	0.07
手足口病	17	0.14	2.13	232	0.07
伝染性紅斑	0	0.00	-	27	0.01
突発性発しん	44	0.37	1.02	634	0.20
ヘルパンギーナ	70	0.58	1.59	187	0.06
流行性耳下腺炎	4	0.03	1.00	79	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	8	0.01
流行性角結膜炎	5	0.19	2.50	108	0.16
細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	6	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	1.00	14	0.03
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	-	15	0.03
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	3	0.01

○県内における新型コロナウイルス感染症の発生状況等について



・福岡県では、下記のホームページにて随時、発生状況や感染予防策などの情報提供を行っています。

◇新型コロナウイルス感染症ポータルページ

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/covid-19-portal.html>